

じゅんせつちゅうしの はか じゅんせつちゅうしの ぼしめ いげんぼんもくはん
118. 殉節忠士之墓・殉節忠士之墓誌銘原本木版

■ 指定日

平成6年3月30日

■ 種別

有形文化財 彫刻

■ 年代

明治時代

■ 所在地

朝来市山口

■ 所有者

個人



■ 内容

殉節忠士之墓木版の元になった原書は、慶応4年(1868)、西園寺公望が揮毫したもの。郷土の維新の士として活躍した、山東町喜多垣の山崎誠蔵が、西園寺の山陰道入りの際、先導役となった折に拝領したものである。それを誠蔵の子の久米蔵が、この書にもっともゆかりのある旧朝来町の山口八幡神社に奉納し、これを原書として刻したのが、護国神社の石碑である。その原書と石碑に対して、この木版が、山口家につたわった詳細は分からないが、珍しい物である。

墓誌銘原本木版も、折田年秀が慶応4年(1868)6月に揮毫したといわれる石碑と同内容とみられる。